



## 「学校における家の鍵の管理」について

先般、学校で児童が持ってきていた家の鍵がなくなるということがありました。学校全体に周知し、みんなで探しておりますが、まだ見つかっておりません。鍵の紛失は防犯上、大変不安な状況を招いてしまいます。今後、こういったことがないように、十分に気を付けていかなければなりません。

学校では、全校児童を対象に「学校における家の鍵の管理」の現状について調査を行いました。調査結果は下記のとおりです。

家の鍵を学校へ 持って来ている	学校での管理状況	人数
126人	ランドセル（かばん）にひも等でつながっている	48人
	ランドセル（かばん）に入れている（つながってはいないが、チャックがあるところに入れている）	48人
	ランドセル（かばん）に入れている（つながっておらず、チャックもない）	13人
	制服やジャンパーのポケットに入れている	6人
	首にぶら下げている	11人

調査の結果、厳重に保管している人が多かったのですが、「つながっていない・チャックもないランドセル（かばん）の中」や「ポケットの中」など、少し心配な管理の状況も見受けられましたので、本調査結果をもとに、各学級で指導を行ったところです。

保護者の皆様におかれましても、改めて、お子さんと一緒に確実に安全な鍵の管理について話してくださるよう、ご理解とご協力をお願いいたします。